

ご挨拶

今年は例年になく猛暑が続き痛ましい事故も頻発していますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

さて、当法人は昨年創立満40年を経過致しました。この間、皆さまから頂戴した多くのご高配に対しまして、心から深く感謝を申し上げます。

つきましては先の理事会に於いて、私の理事長退任及び時田佳代子の理事長就任についてご承認を得ましたのでここにお知らせ申し上げますと共に、新理事長に対し一層のご指導ご支援の程よろしくお願い申し上げます。追って私は会長として引き続き務めて参りますので併せてお知らせ申し上げます。

今、わが国は人口構造の変化や社会経済の変動と共に、多くの新たな福祉課題を浮き彫りにしています。その地域社会の安寧のために、社会福祉法人が果たすべき役割は益々重くなっています。当法人はこれまで地域で暮らす方々が抱える困難を見過ごさず、必要な手立てを講じて支援のための仕組みを整えるべく腐心して参りました。それが「潤生園の原点」であり、社会がどのように変わろうとも堅持しなければならない姿勢であると自覚を新たにしています。

この「潤生園の原点」が次世代に確かに受け継がれ、弛まぬ実践を通して地域社会の未来を明るく希望に満ちたものに築き上げるよう願って止みません。

どうぞ今後とも、当法人に温かなご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

平成30年7月吉日

社会福祉法人小田原福祉会

会長 時田 純

ご挨拶

この度、当法人の理事長を務めることになりましたので一言ご挨拶申し上げます。これまで常務理事として法人経営の一翼を担い、前理事長の元で業務遂行に当たることができ、更に多くの関係機関の皆さまのご支援を頂戴しながら、今日まで大過なく務めて参りました。

理事長職を拝受すると同時に新たな組織編成に着手し、未来を託す多くの次世代リーダ者を輩出することができました。創立40周年という一つの区切りは、次の10年、20年へ向けてのスタートでもあります。当法人がこれまで地域社会に根を下ろし、信頼を確かなものにできたのは、ひとえに前理事長と共に誠意ある実践を積み重ねてこられた多くの先輩職員の働きにあります。この誇りある歴史を受け継ぎ、これからも地域社会への貢献に努めることが、バトンを渡されたものの使命であると決意しています。

新たな組織では「全員経営」を目指しています。すべての職員が役割を持ち、責任を自覚して自ら行動することができるように、そして「チーム潤生園」として、どのような困難にも果敢に挑戦する勇気と情熱をもって臨めるように、次世代リーダ者と共に歩み始めます。どうぞ今後ともご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年7月吉日

社会福祉法人小田原福祉会
理事長 時田 佳代子